



学校通信

我が輩はトラフズク

令和4年3月23日 No.12

弘前市立第三中学校(文責:教頭 須郷 祐一)

創造・感動・笑顔

第73回卒業証書授与式 夢なき者に成功なし

～二十年後、三十年後の弘前だけでなく
日本や世界を支える人に～



成田校長から最初に証書を受けとった阿部快斗君

3月12日(土)、本校体育館にて、第73回卒業証書授与式が挙行されました。まん延防止等重点措置が発令されている中、在校生は必要最小限とし、御来賓の出席も制限しての式となりましたが、関係者各位の御理解・御協力もあり、無事に実施することができました。改めて感謝申し上げます。

さて、式典では、成田隆道校長が、卒業生一人一人に対し卒業証書をしっかりと手渡しました。

式辞では、江戸時代後期の長州藩士で、思想家、教育者で、明治維新の精神的指導者・理論者だった吉田松陰の言葉「夢なき者に理想なし 理想なき者に計画なし 計画なき者に実行なし 実行なき者に成功なし 故に、夢なき者に成功なし」や、イソップ物語の「ウサギとカメ」の話を用い、自分の夢に向かって、カメのようにコツコツと努力を積み重ねてき、一人一人の素晴らしい才能や良さを大事にして、二十年後、三十年後の弘前だけでなく、日本や世界を支える人になってくれることを願っていると、はなむけの言葉を贈りました。

送辞では、在校生を代表して谷川原悠乃さんがYOASOBIの群青の歌詞を用いた送辞の中で、二年前に新型コロナウイルス感染症拡大で、小学校生活を突然に打ち切られた自分たちの不安を、先輩方は温かさ、優しさで払拭してくれたこと、先輩方のおかげで、新しい環境にもすぐに慣れることができたこと、様々な場面で自分たちを励まし、高めてくださった先輩方から学んだことは、かけがえのない財産であり、自分たちがしっかりと受け継いでいかなければならないと誓ってくれました。

答辞では卒業生を代表して大湯日花里さんが、EXILEの「道」の歌詞を引用した答辞の中で、元号が平成から令和へと変わり、新たな時代の幕開けとともにスタートした自分たちの中学校生活を振り返り、新型コロナウイルスの影響で様々な活動が制限され、「当たり前」の生活がいかに幸せかを感じながら、先輩としての一歩を踏み出した二年生だったこと、三年生では修学旅行は中止になったけど、前年度に中止や分散での開催となったスポーツフェスティバルや中体連夏季大会、合唱コンクール、つがる地球村での遠足、学級制作、バラエティショー、ダンス発表など、仲間と全力で取り組み、全力で楽しんだ三中祭と、本当に嬉しかった思い出を語ってくれました。

最後に先生方や家族、一緒に過ごした仲間への感謝の言葉とともに、この先に待ち受けている長い道のりを、夢や希望をもち、挑戦する気持ちと感謝の気持ちを忘れずに、力強く歩んでいきたいと締めくくってくれました。

2年ぶりに体育館に響き渡った卒業生の合唱、「旅立ちの日に」「道」。心を込めて一生懸命に歌った姿と歌声が、心にしみた感動的な卒業式でした。

三年学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども



吉田松陰

「思い出が時間を止めた 今日の日を忘れるなと見慣れた景色 二度と並べない 思い出の道」
「空、今日も青空です 泣き笑ったあのとき 当たり前が未来に変わる」
「ゆっくりと歩きたそう この道 未来へ続く」
(「道」より)



教職員人事異動発表

本日、今年度の教職員人事異動が発表されましたので、ここにお知らせ致します。異動される各先生方は、万感の思いを抱き三中を去られるこれることと思います。各先生方には、新しい場所でも大いに御活躍されることを御期待申し上げます。

- 退職・転出者
 - 教諭：成田 茂樹 (弘前市立第五中学校へ：教頭に昇任)
 - 教諭：齋藤 貢一 (弘前市教育委員会指導主事へ)
 - 教諭：小野 勇一 (藤崎町立明德中学校へ)
 - 教諭：神 友実子 (弘前市立南中学校へ)
 - 教諭：田中 直子 (弘前市立石川中学校へ)
 - 教諭：軍 大介 (弘前市立第四中学校へ)
 - 養護教諭：佐藤 春香 (弘前市立石川中学校へ)
 - 講師：毛 保寛 (弘前市立第一中学校へ)
 - 講師：大瀬 寛人 (弘前市立裾野中学校へ)
 - 講師：山口 春南 (平川市立尾上中学校へ)
 - 事務主幹：菊池 若葉 (弘前市立東目屋小学校へ)
 - 教諭：福士 祐治 (再任用終了・退職)
 - 特別支援教育支援員：對馬 静子 (退職・他校の心の教室相談員へ)

また、今回の異動では下記の先生方が本校に転入されます。転出される先生方同様に、その力を存分に発揮されることと思います。保護者・地域の皆様、どうぞよろしくお願い致します。

- 転入・採用者
 - 教諭：長 津 剛 (弘前市立船沢中学校より・再任用)
 - 教諭：成 田 孝信 (弘前市立東中学校より・再任用)
 - 教諭：後 藤 伸也 (弘前市立石川中学校より)
 - 教諭：鳴 海 孝 (弘前市立東中学校より)
 - 教諭：前 田 のどか (弘前市立石川中学校より)
 - 教諭：成 田 真澄 (弘前市立東目屋中学校より)
 - 教諭：原 昌弥 (弘前市立第五中学校より)
 - 教諭：黒 滝 悠奈 (新採用・弘前市立第四中学校より)
 - 講師：神 美香 (弘前市立相馬中学校より)
 - 講師：洪 谷 圭哉 (新規任用)
 - 事務主幹：長 濱 和佳子 (弘前市立船沢中学校より)
 - 代替事務：神 田 真理子 (弘前市立千年小学校より)
 - 養護教諭：中 村 万菜 (新採用)

主事の千葉さんは出産・育児のために、4月から1年間お休みになります。また、出産のためにお休みしている駒目先生は、5月から復職する予定です。

お世話になりました

よろしく
お願いします!

新年度(4月)の主な行事

1	金	特別職員会議、学年部会他	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	平常5時間、3年内科検診、校内研修
4	月	学年部会、指導部会他 新入生学級発表9:00~16:00	19	火	平常6時間3年全国学力・学習状況調査 2年耳鼻科検診
5	火	職員会議、指導部会他	20	水	平常5時間、交通安全教室、職員会議
6	水	新任式8:35、入学式・始業式13:45	21	木	平常6時間、2年内科検診
7	木	平常5時間、給食開始	22	金	参観日-PTA総会
8	金	平常5時間、身体測定、写真撮影、新入生 歓迎会、部活動説明会	23	土	
9	土		24	日	
10	日		25	月	短縮6時間、1年内科検診、生徒会委員会
11	月	平常5時間、1・2年知能検査	26	火	平常6時間、全校朝会、全校眼科検診
12	火	平常6時間、標準学力検査	27	水	短縮3時間、給食なし、市中教研総会・理事会 (変更の可能性あり)
13	水	短縮6時間、生徒会委員会組織会	28	木	短縮6時間、1年歯科検診、部活動組織会
14	木	平常5時間、校内研修推進委員会	29	金	昭和の日
15	金	平常6時間	30	土	

※3/23現在のおおよその予定です。今後変更になることもありますので、その際は御連絡いたします。○思いやりの心をもち、共に生きる ○すずんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる

様々な思い出がある中学校生活だったと思います。特に、新型コロナウイルス感染症問題に関しては、いつもつきまとい、

今日現在もまん延防止等重点措置の中での卒業式となりました。

また、思い返してみれば、修学旅行や三中祭でも中止や内容の変更等がみられ、閉塞感やストレスを感じたことだと思います。本当に、一日でも早くこのコロナ問題が収束することを心より祈っております。

今、私から卒業生の皆さんに、卒業に当たって、吉田松陰の言葉を贈りたいと思います。皆さんもご存じのとおり、彼は、江戸時代後期の長州藩士で、思想家、教育者です。また、明治維新の精神的指導者・理論者でもあり、彼の私塾「松下村塾」には、明治維新に重要な働きをした多くの若者へ影響を与えた人物です。

その言葉とは、

夢なき者に理想なし、

理想なき者に計画なし、

計画なき者に実行なし、

実行なき者に成功なし、

故に、夢なき者に成功なし

その意味は、「自分の夢がない人には、未来に向かってああしたい、こうしたいという理想がありません。未来に向かって理想のない人は、その理想を実現するために、自ら計画したり予定を立てたりすることはできません。そして、自分から計画できない人に何かを実行することはできません。だから、自分のこれからの成功はない、ということです。そう考えると、夢のない人には、成功はなくなってしまふ。」ということのことです。

どうでしょうか？ 皆さんの中にも自分の夢をもっているいろいろなところで頑張っている人もいると思います。でもまだ明確な自分の夢をもっていない人もいると思います。無理矢理夢をもつ必要はありませんが、「自分はこんなことが好きだから、その好きなことが大人になっても続けられたらいいな。」でも良いので、自分なりの夢をもって欲しいと思います。

「成功する人は夢がある」ということは正しいと言えるでしょう。また、夢に向かって努力した人にしか神様は微笑まない、ということも正しいと思います。

イソップ物語の中に、「ウサギとカメ」のお話があります。その内容は、皆さんもご存じのとおり、足の速いウサギと足の遅いカメが競走をし、その途中でウサギが油断をして居眠りをします。その隙にカメがウサギを追い抜き、ウサギが目を覚ますとそこにはすでにゴールしたカメの姿があった、というものです。

カメがウサギに勝ったのは、自分のペースを忘れず、ゴールを目指してコツコツと休まず

努力したからだと思います。

このお話で「ゴール」を「自分の夢」と置き換えてみると、自分の夢に向かってコツコツと努力をし続けることによって「夢」は現実に近づいていくものだと思います。皆さんが、今日、第三中学校を卒業し、それぞれの高校等に進学をし、さらには、大学や社会へ進んでいきますが、自分の夢を大切に、この吉田松陰の言葉)

夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし、
故に、夢なき者に成功なし

を、思い出して、自分の夢に向かって、カメのようにコツコツと努力を積み重ねていって欲しいと思います。

皆さん一人一人に素晴らしい才能や良さがあります。それを大事にして、二十年後、三十年後の弘前だけでなく、日本や世界を支える人になってくれることを願っています。

さて、卒業生の保護者の皆様。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様はとても立派に成長いたしました。お子様の晴れの姿に感激も一入（ひとしお）であろうと拝察いたします。三年間に渡り、本校の教育にご理解とご協力を賜りましたことを改めて感謝申し上げます。

結びに、卒業生皆さんの益々のご活躍と本日ご出席いただきました全ての皆様方のご健勝を祈念し、さらには、本校への変わらずのご支援、ご協力をお願い申し上げます、式辞と致します。